

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	肝炎フィードバックシステムによるHCV抗体陽性症例の拾い上げ活動
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2022年4月～2024年3月にHCV抗体陽性であった症例 小林由夏
③概要	2022年4月から当院で肝臓専門医が月に1回HCV抗体陽性となった症例リストを確認し、必要に応じて直接主治医あてにカルテにコメントを残す肝炎フィードバックシステムを導入した。開始後2年間のフィードバックの稼働状況と治療を導入例について検討した。
④申請番号	第638号
⑤研究の目的・意義	HCV抗体陽性症例に対するフィードバックシステムの有用性を検証し、今後の工夫に役立てる。
⑥研究期間	2022年4月から2024年3月
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに記載された内容の後方視的確認のみ
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、HCV抗体価、合併症、消化器内科受診歴
⑨利用の範囲	2024年東部肝臓学会に限る。
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏 内線 8029